

保健 小学校第5学年 心の健康

個別学習での活用

文字色背景色変更

ふりがな表示

動画再生

体育科における保健分野の学習は、学習する時間数も少ない。

児童にとっては、少ない時間数の中で、教科書の文字や絵、図など紙面のみの情報では理解を深めることは難しい。

しかし、デジタル教科書を使用し、動画で心と体の関わりについてのイメージを学び、理解をより深めることができた。

文章や絵、図のみでは理解が難しい児童にもよりやさしい手立てとなった。

また、デジタル教科書は、ふりがな機能や白黒反転の機能も備わっているため、視覚に特性をもつ児童への手立てとしても有効であると考えた。



映像を見て理解を深める児童

保健 小学校第5学年 けがの防止

個別学習での活用

書き込み

拡大縮小

ふりがな表示

けがや事故が起こる原因について考える学習を行った。

けがや事故が起こる原因をイラストや文章から調べる場面では、拡大機能を使うことでイラストを細部まで見ることができた。

また、ふりがな機能を使うことで漢字が苦手な児童も含め、誰もが自力で取り組むことができた。

話し合う場面や振り返りの場面では、書き込み機能を使って自分や友達の考えを教科書に残すことができた。

デジタル教科書限定の追加画像などもあり、児童が意欲的に学習を深めていくことができた。



保健教科書にはない情報を探す児童

保健 小学校第6学年 病気の予防

個別学習での活用

拡大縮小

タブレットを利用することにより、児童が教科書を忘れたということなく、全員が教科書を見ることができるというのが、当たり前かもしれないが大切なことだと改めて実感した。

今回利用した保健のデジタル教科書は、同じイラストや画像の共有が紙媒体の教科書と同様にやりやすく、タブレットに慣れた児童であれば、紙媒体よりも使いやすいかも思われる。

イラストや画像の拡大も自在であることから、より見やすく、児童の興味も引くことができた。



共有された資料を確認する児童

保健 小学校第6学年 病気の予防

個別学習での活用

拡大縮小

書き込み

音声読上(機械音声)

保健の「病原体と病気」の学習では、のどの奥の様子やインフルエンザウイルスの画像を拡大して見ることができ、児童個人で細かな様子を確認することができた。

また、デジタル教科書上に線を記入することができるため、紙媒体の教科書と同じように「病原体」「予防接種」等のキーワードに線を引きながら、授業を進めることができた。

学習支援ページでは音声ガイドもあり、個別に学習を進めることも可能である。紙面データがオンライン上にあり、タブレットの容量を圧迫しないことから、タブレットの起動に影響を与えず、スムーズに作動していたこともよい点である。

学習者用デジタル教科書でも紙面と同じように十分に活用することができた。



キーワードに線を引く児童

保健 小学校第6学年 病気の予防

個別学習での活用

動画再生

生活習慣病の予防の単元では、血管の収縮の動きや歯周病による変化についての動画があることで、児童にとって病気を理解することにつながった。

一人ひとりが動画を再生することができるため、自分で興味のある部分を見直したり、家庭で復習に使ったりすることができた。



歯周病について動画で理解する

保健 小学校第6学年 病気の予防

考えを交流する場面での活用

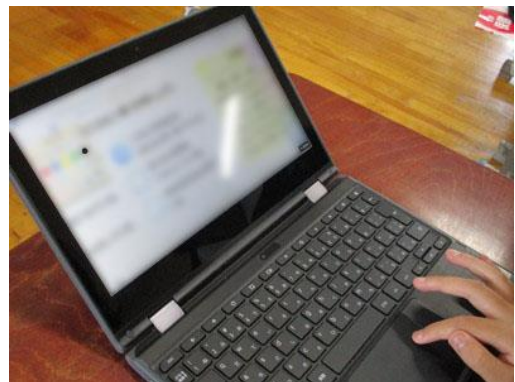
書き込み

外部ソフト連携

デジタル教科書の活用により、自分の生活習慣を振り返るとともに生活習慣病について知り、友だちと様々な意見を交流することができる。

また、生活習慣病を防ぐためにこれから自分が実行したいこととその理由を考える時間にもなる。自分の考えをもたせる場面では、デジタル教科書の文字入力機能を活用する。

ペン機能を用いて「早寝早起きを心がけている」などの選択肢に○をつけたり、文字入力機能を用いて「がんなどの病気にならないように、塩分の多いものを食べすぎない」といった自分の意見を主張したりすることができる。その画面をスクリーンショットで撮影し、タブレット内の画像共有ソフトと組み合わせることで、幅広く友だちの意見に触れることができ、さらに自分の考えを深めることにつながる。



生活習慣を振り返って○をつける児童

保健体育 中学校第1学年 健康な生活と病気の予防

資料提示での活用

ふりがな表示

書き込み

外部出力

保健の授業では、学習のための資料や図、専門用語などが多く使用される。

中学1年生にとって、語句を理解しづらいことも多く、それぞれの漢字にルビ表示がされるのは、読み書きが得意でない生徒も無理なく授業のペースについていくことができ理解も早い。

また、資料や図を説明する際に教科書だけを使い口頭で説明するよりも、実際にスクリーンに大きく映し出し、その資料や図を直接使いながら説明できたり、重要語句や大切な部分に罫線を引きながら説明できたりすることが、生徒の学びを深めるためには効果的である。



生徒が理解しやすいルビ付きの表示

保健体育 中学校第2学年 健康な生活と病気の予防

資料リンクの活用

資料閲覧

本学年は昨年度よりデジタル教科書を活用し、授業ではデジタル教科書と紙媒体を併用して授業を行っている。

板書や要点の整理なども google classroom や大型モニターを使っているためデジタル教科書の使用については抵抗なくスムーズに使用できた。

デジタル教科書内にあるリンクやWEBサイトにもその場でアクセスし、調べ学習に移る際もスムーズにつなげることができた。



WEBサイトで調べ学習を行っている様子

保健体育 中学校第2学年 健康な生活と病気の予防

資料リンクの活用

資料閲覧

たばこの煙と関連のある「生活習慣病」や「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処」のページにスムーズに移動できたり、「考える1」のようにより深く本日の課題にアプローチできたりする。



画面上で複数の資料を確認しながら課題を行う生徒

保健体育 中学校第3学年 健康と環境

資料リンクの活用

資料閲覧

外部出力

保健の授業では基本的にスライドを作り、そのスライドを活用して授業を進めている。

しかし、教科書に載っている資料は教科書で見ているため、モニターや教科書、プリントといろんなところを行き来して授業が進んでいる。

今回タブレット上で教科書の資料やそれに関連した内容の資料を調べることができ効率的に学習に取り組むことができた。



関連資料を検索している様子